

新型コロナウイルスの脅威はすでに3年目に入っていますが、いまだおさまる気配がありません。皆さまにおかれてはお変わりはありませんでしょうか。さて、平和が丘防災タイムズ49号では、今年度の活動内容について紹介させていただきます。


○ 平和が丘学区 防災委員会 2022年度活動計画

今年度の防災委員会の活動計画は、以下のとおりです。

ただし、新型コロナウイルスの蔓延状況により活動計画を中止する場合があります。

なお、各行事の詳細は、学区ホームページ「平和が丘だより」や、事前案内の回覧等でご確認下さい。

【2022年度防災委員会活動計画】

活動項目・活動内容	実施場所	時 期
1 自主防災訓練 ①学区総合防災訓練 ②自主防災会防災訓練 各自治会&コミセンが訓練目標を設定して訓練を実施します。	平和が丘小学校 各自治会指定場所	6月26日(日) 6月～12月
2 防災委員会(会議・訓練) 学区内の防災に関わる行事の企画・立案と実施および各種情報提供や啓蒙活動のため、毎月1回会議を実施しています。また、定期的に防災器具の稼働確認や習熟訓練を行っています。	コミセンおよび平和が丘小学校 他	通年 (主に月1回)
3 防災あんしん調査票 大地震や台風、大火災等の災害への備えとして、ご家庭・ご近所の様子や、要援護者を把握し、共助や救護に役立てます。	各自治会・学区	8月
4 自主防災推進会議 自治会長、自主防災会長、学区防災委員、消防団、消防署など自主防災関連組織による合同会議 ※各自治会の自主防災会長と自治会長(名古屋市災害対策委員)に出席いただき、防災活動に関する情報共有を行います。	コミセン	4月24日(日) 6月 5日(日) 12月 4日(日)
5 耐震化促進おすすめ活動 名古屋市が行う木造住宅耐震改修助成制度の一環として、木造住宅耐震化支援制度のご案内を行います。	5丁目 八前3丁目	9月11日(日)
6 その他(名東区防災訓練への参加) ・名東区総合防災訓練：大規模災害に備え、防災意識の高揚と、各種防災対策の推進を図ることを目的に訓練を行います。 ※令和4年度の名東区水防訓練は、コロナ禍による規模縮小のため学区としての参加はありません。	北一社小学校	9月4日(日) 

○2022年度防災委員会のメンバー紹介

防災委員会は、平和が丘学区連絡協議会の直属委員会として平成15年に発足し、各自治会の自主防災会長や平和が丘消防団、名東区役所、名東消防署等と連絡を密に、防災に関わる行事の企画立案と実施、各種情報提供・啓蒙活動等を行っています。

【防災委員】

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
顧問	後藤 浩一郎	委員	井下 圭介	委員	榊原 真一	委員	山田 賢
委員長	今井 信彦	委員	尾崎 彰	委員	曾根田 律夫	委員	吉澤 永
副委員長	舟橋 三千秋	委員	加藤 実	委員	竹村 義弘	委員	若林 幸男
事務局	中川 衛	委員	河村 庫夫	委員	津田 信行		
事務局	青木 和美	委員	北川 清登	委員	西川 かほり		
委員	浅井 重子	委員	五藤 俊和	委員	前島 一也		

【活動グループ】 L:リーダー、SL:サブリーダー

グループ(G)名	担当	グループ名(G)	担当
総合防災訓練G	L:舟橋、津田、五藤、井下、浅井	自治会防災訓練G	L:榊原、SL:舟橋、青木
避難所運営G	L:今井、SL:舟橋、浅井、榊原、若林、竹村	地域連携G	L:中川、SL:今井、吉澤、河村、若林、青木
あんしん調査G	L:津田、西川、井下	防災タイムズG	L:前島、西川、河村
防災倉庫管理G	L:河村、井下、中川	耐震化促進G	L:榊原、(佐野)

○少年補導委員会の役割と活動

少年補導委員会は、警察の行う少年補導に協力し、もって少年の非行防止に寄与することを目的とし、名東警察署長から少年補導委員として委嘱を受けた者で組織しています。名東区各学区に配属され、平和が丘学区には、加藤 実、加藤 千香子、吉田 欣一の3名が担当しています。県下において、少年の検挙・補導人員は減少傾向にある一方で、少年による特殊詐欺への加担が依然して社会問題になっている等、少年非行の情勢は予断を許さない状況にあります。よって、当会においては、次の活動重点を推進することとしています。

- ①SNSに起因する性被害撲滅に向けた広報啓発活動の推進
- ②少年の健全育成に向けた被害少年への支援
- ③少年の健全な育成を阻害する有害環境の浄化に向けた取り組み
- ④ボランティアの中核としての自主的な対策の推進
- ⑤各中学校における挨拶運動の実施

今後も、皆様のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。



少年補導委員会 会長 吉田 欣一

※今回の防災お役立ち情報はお休みします。

<編集後記> 6月に入り気温が30度を超える日も多くなり、熱中症が気になる季節になりました。防災委員会でも、暑い時期にいろいろな活動を行っており、基本的なコロナ感染対策ではマスク着用が大切ですが、反面熱が逃げにくくなるので、熱中症対策も重要な課題になっています。厚生労働省から、新型コロナウイルス感染症に関して、身体的距離や会話の有無別でマスク着用可否の考え方が示されていますので、皆さまも一度ご確認ください。詳しくは厚生労働省のホームページに掲載されています。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症対策」と、マスク・換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。(編集 前島)

